

環境学習の小道「ケドロヴォエ湖 (Kedrovoe)」の企画

- 1 自治体名： 沿海地方
- 2 発表者名： クセーニヤ・ブルコフスカヤ (Kseniya Burkovskaya)
ウラジオストク市アルテモフスキー地区第 11 総合学校
- 3 活動名： 環境学習の小道「ケドロヴォエ湖 (Kedrovoe)」の企画
- 4 活動期間： 2012-2014 年の春・秋季
- 5 活動場所： 環境学習の小道「ケドロヴォエ湖 (Kedrovoe)」
- 6 活動人数： 25 名

7 活動をはじめた経緯

企画の目的：環境学習の小道の構築を通して、自然を大事にする必要性を普及啓発すること、身近な自然だけではなく地球規模の自然をも思いやる気持ちを醸成すること、自然を破壊するのではなく、自然を知ること。

8 発表要旨

環境学習の小道の主な目的は、レクリエーション・教育・学習という三つの要素で構成される。参加者の自然科学的な視野を拡大することが学習課題に含まれている。また、教育目標は自然を愛する気持ちを育むこと、自然環境保護に関心と責任を持つこと、人々の環境文化を育むことである。

環境学習の小道の構築の対象地域はアルテヨム市付近にあるケドロヴォエ湖周辺である。

この小道は自然散策を楽しみながら学習するもので、市民の環境意識の向上、環境に配慮する人へ教育環境づくり、環境の中で人々のマナーを形成することを目的として設計した。

学習者への環境教育における主な取り組み項目は、自然と人間との適切な関係を構築することである。これは特別に整備されたルート「ケドロヴォエ湖」によって、可能になる。環境学習の小道には、看板、標識等が整備されている。この小道のルートを地図上に示すと、観察地点の番号をつなげた線の通りである。小道沿いには特定の「テーマ別のポイント」を設定した。名称がついているそれぞれのポイント

には説明メモ、観察計画、見学中に記入するテーマリストを準備している。

動植物の多様性の研究

学習者が観察地点で行った調査によって、50種以上の植物、30種以上の主に無脊椎の動物が同定された。収集された生物種の情報は電子データベースにまとめた。

ルート内には、一連の植物エリアが整備され、希少な植物、絶滅の恐れがある植物、ハーブ等の沿海地方独特の植物が植えられている。

期待されている結果及び評価方法

学習者は以下のことを知ることができる。

- 地元の生態系の多様性
- 生物の生息・生育環境の要素の重要性
- 季節の変化に伴う、生物の生息・生育条件の変化
- 環境問題としての自然破壊
- 生物を「役に立つもの」と「有害なもの」に分けることが不当であること
- 動物、虫の種構成
- ハーブ
- 毒のある植物とキノコ
- 保護されるべき生物種

学習者は以下のスキルを習得する。

- 与えられた図面を利用して、生物とその生息・生育環境の観察。結果のまとめおよび観察結果図の作成
- 創造的なプロジェクトやプレゼンテーションの自習的な（場合によって指導者の下で）立案と実施
- 天然素材を用いた工作と絵の作成

このような作業は学習と実践および労働を結び付けることを実現し、労働に対する敬意の念及び勤勉の習慣を植え付ける。学習者は自然科学の知識を深めるだけでなく、仕事と余暇の過程における人間と自然との関わり方を学ぶ。環境知識・環境教育を形成するために、環境の小道は多くの可能性を秘めている。